

平成27年度 関西大学博物館実習

平成27年度の関西大学博物館実習は、受講者53名で、内訳は表の通りである。博物館実習のカリキュラムは、後掲の「平成26年度関西大学博物館実習日程」のとおり実施した。関西大学では博物館実習を通年授業として設けており、金曜日の4時限～5時限のクラスと、土曜の4時限～5時限のクラスが、それぞれ学内での博物館実習と学外見学実習を行っている。

春学期には、「資料の基礎的な取り扱い」から「資料の梱包」、「資料の調書の取り方」へと段階的に実習し、あわせて月に1度程度日曜日を利用した近畿圏の博物館・美術館施設の見学実習を行い、博物館における学芸業務全般についての基礎的な知識の習得を行うようにしている。

秋学期には、実習生による「関西大学博物館実習展」の開催に向けて具体的な作業を行う。この「博物館実習展示会」は、習得した学芸業務についての知識と経験、受講生の専門分野や興味を基に、グループを結成して準備、実施する展示会で、博物館実習の集大成としての行事である。今年度は、学生グループが自主的に4つのテーマ設定し、展示資料の借用交渉と展示方法などの折衝を続け、充実した内容での展示会を実施することができた。内容と来館者アンケートの結果を、実習展の報告として収録した。

実習展終了後には博物館関連科学や研究活動についての実習と講義、講義最終日は実習の反省会を開催して、平成26年度の博物館実習のカリキュラムを終了した。

平成27年度の博物館実習担当教員は、本学教員とともに博物館・美術館や研究機関、行政機関に所属される学芸員、専門担当者を委嘱してあつた。

平成27年度 担当教員

米田文孝	文学部教授	森 隆男	文学部教授
黒田一充	文学部教授	西本昌弘	文学部教授
原田正俊	文学部教授	橋寺知子	環境都市工学部准教授
明尾圭造	大阪商業大学商業史博物館	一瀬和夫	京都橘大学
伊藤健司	元興寺文化財研究所	河合正人	元・あやめ池自然博物館
河内晋平	東京藝術大学	北川博子	あべのハルカス美術館
合田茂伸	西宮市立郷土資料館	佃 一輝	一茶菴宗家
寺西貞弘	元・和歌山市立博物館	林 進	元・大和文華館
藤枝宏治	藤枝春月（表具工房）	藤尾隆志	神戸大学経済経営研究所
山内紀嗣	天理大学附属天理参考館		
熊 博毅	関西大学博物館	山口卓也	関西大学博物館
伊藤信明	関西大学年史編纂室	文珠省三	関西大学博物館

平成27年度 関西大学「博物館実習」日程

授業時間
1組：金曜日 4・5時限 (14：40～17：50)
2組：土曜日 4・5時限 (14：40～17：50)

1組 (金曜)		2組 (土曜)	
月	日	日	日
4	10/金	A班 B班	
		担当者全員 クラス編成、実習簿・日程表配布 等	
	17/金	第1号室(5号館)210教室 寺西 文化財保護法の解説	
	24/金	河合 自然史資料の保存と整理	
	26/日	河合・山口 博物館等施設見学(自然観察)	
5	1/金	伊藤(信) 歴史資料の取り扱い	伊藤(信) 歴史資料の取り扱い
	8/金	明尾 美術資料の取り扱い	北川 美術資料の取り扱い
	15/金	山内 考古資料の取り扱い	伊藤(信) 歴史資料の取り扱い
	22/金	林 美術・工芸、文書、民俗、考古資料の調査の取り方	北川 美術・工芸、文書、民俗、考古資料の調査の取り方
	24/日	西本・熊 博物館等施設見学(京都方面美術館)	
6	29/金	黒田 民俗資料の取り扱い・民具調査と採集方法	黒田 民俗資料の取り扱い・民具調査と採集方法
	5/金	熊 図録編集・出版	熊 図録編集・出版
	7/日	源・石立 展示開発ワークショップ	一瀬 展示開発ワークショップ
	12/金	藤枝 表具の取り扱いと保存技術	藤枝 表具の取り扱いと保存技術
	14/日	伊藤(信)・岡村 博物館等施設見学(選択制)	
	19/金	国立文楽劇場 第32回文楽鑑賞教室(古典芸能)	米田・森 夏季休暇中の日程表配布及び実習展の説明・班編成
	26/金	河内 刀剣の取り扱いの基礎と方法	河内 刀剣の取り扱いの基礎と方法

1 組 (金 曜)		2 組 (土 曜)	
日	A 班	日	A 班
3/金	伊藤 (健) 博物館実習室	伊藤 (健) 博物館実習室	B 班 資料の借用と運送の現状
5/日	森・山口 滋賀県立琵琶湖博物館	森・山口 博物館実習室	資料の借用と運送の現状
10/金	林 博物館実習室	林 博物館実習室	展示企画・ポスター作成
17/金	原田 博物館実習室	原田 博物館実習室	文書資料の取り扱い
4/火・5/水	能 都市遺産セミナー室	能 都市遺産セミナー室	資料写真撮影の目的と方法
10/木・12/土	夏季休業中	米田・黒田・明尾・西川・河合 博物館実習室	キャズミュージアム (希望者のみ)
18/金	森・伊藤 (信) 元興寺文化財研究所・奈良国立博物館	森・伊藤 (健) 博物館等施設見学 (選択制)	展示計画プレゼンテーション、展示の技術／展示に関する経費計画
25/金	米田・森・明尾 博物館実習室	米田・森・文珠 博物館実習室	展示計画プレゼンテーション、展示の技術／展示に関する経費計画
2/金	明尾 博物館実習室	文珠 博物館実習室	展示の技術／展示に関する経費計画
4/日	稲寺・石立 大阪市内博物館・まち歩き	稲寺 博物館実習室	文化遺産としての建造物
9/金	林・山口 博物館実習室	林・文珠 博物館実習室	展示指導及び実習展準備作業 (実習展での資料借用と梱包)
16/金	黒田・山口 博物館実習室	黒田・山口 博物館実習室	博物館の普及広報と情報化、インターネット化
23/金	林・明尾 博物館実習室	原田・文珠 博物館実習室	展示指導及び実習展準備作業 (学生による自主作業)
30/金	米田・林 博物館実習室	森・林 博物館実習室	実習展のための自主作業は可能
6/金	担当者全員 (購読) 博物館実習室	展示指導及び実習展準備作業 (学生による自主作業)	展示指導及び実習展準備作業 (学生による自主作業)
8/日 ～13/金	一瀬 博物館実習室	講 評 (11/13 16:20～17:50) ・撤 去 (11/13・11/14)	
20/金	博物館実習室	展示評価 (実習展の振り返り)	展示評価 (実習展の振り返り)
27/金	博物館実習室	お 茶 と 文 化	お 茶 と 文 化
29/日	河合・園村 自然系博物館	博物館等施設見学 (大阪府下自然系博物館)	

月	1 組 (金 曜)			2 組 (土 曜)		
	日	A 班	B 班	日	A 班	B 班
	4/金	担当 蔵之館5号館和室(茶室)	資料取り扱い・鑑賞 (茶 室)	5/土	担当 蔵之館5号館和室(茶室)	資料取り扱い・鑑賞 (茶 室)
12	11/金	担当 山内 博物館実習室	拓本の取り方	12/土	担当 山内 博物館実習室	拓本の取り方
	4限	西本 博物館実習室	特論 (宮内庁書陵部三の丸尚蔵館の史資料)	4限	西本 博物館実習室	特論 (宮内庁書陵部三の丸尚蔵館の史資料)
	18/金	5限 藤屋 博物館実習室	特論 (大名家伝来の資料)	19/土	5限 藤屋 博物館実習室	特論 (大名家伝来の資料)
				25/金(土 曜授業)	(休講)	
1	8/金	担当者全員 第1学舎5号館E210教室	1年間の反省・学芸員の課題	9/土	担当者全員 第1学舎1号館A504教室	1年間の反省・学芸員の課題
	15/金 締切	1組・2組全員 [提出場所] 博物館事務室	博物館実習簿及びレポートの提出 (レポート論題)「自由題」 A4判 横書き 4000字 (原稿用紙・ワープロ作成いずれも可)	提出期間 1/9～1/15 提出時間 10:00～16:00 (12:30～13:30は除く)		
2	12/金 ～	1組・2組全員 [受取場所] 博物館事務室	博物館実習簿及びレポートの返却	受取時間 10:00～16:00 (12:30～13:30は除く)		

〔実習上の諸注意〕

- (1) 実習に関する全ての連絡は、インフォメーションシステムの「講義連絡」または「お知らせ」にて行うので、実習のある日の前日には、必ずインフォメーションシステムをチェックすること。
また、休日に実施する実習・見学等の詳細については、その都度授業中に指示をすることあるので注意すること。
〔インフォメーションシステムは、関西大学ホームページ(<http://www.kansai-u.ac.jp>)のトップページ左下にある「インフォメーションシステム」をクリックして閲覧ください。〕
- (2) 見学は時間的に制約される場合が多いので、時間厳守で集合のこと。
- (3) 見学においては、館則を守り、学生としての品位と自覚が必要。また、万年筆・ボールペン等は使用しないこと。鉛筆のみ可能。
- (4) 実習簿は所定の日に必ず提出すること。その際、配付した資料・見学実習等で集めた資料等も実習簿にファイルしておくこと。また、採点後は各自へ返却するので必ず受け取りに来ること。

平成27年度博物館実習受講者数

全体

学 部		3 年次	4 年次	合計
	法 学 部	0	1	1
	文 学 部	32	7	39
	経 済 学 部	1	0	1
	商 学 部	0	0	0
	社 会 学 部	0	0	0
	政策創造学部	2	0	2
	外国語学部	0	0	0
	総合情報	0	0	0
	社会安全学部	0	0	0
	理工系学部	0	2	2
	小 計	35	10	45
大 学 院				2
科 目 等 履 修 生				6
総 合 計				53

院・学部・年次別	3 年次	4 年次	大学院	科目等	合 計
1 組（金曜日）	32	0	0	0	32
2 組（土曜日）	3	10	2	6	21
合 計	35	10	2	6	53

男女比	男子	女子	合計
1 組（金曜日）	11	21	32
2 組（土曜日）	7	14	21



平成27年度博物館実習展風景

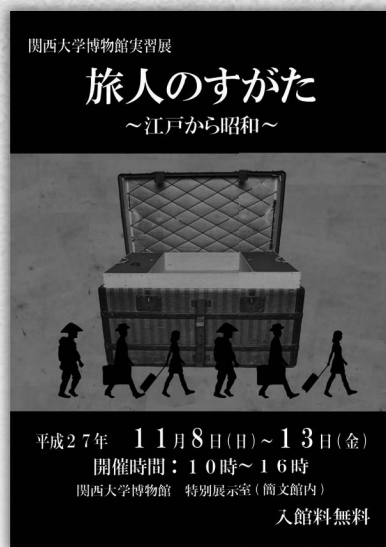


平成27年度

関西大学博物館実習展

11月8日(日)~11月13日(金) 開館時間:10時~16時
関西大学博物館特別展示室(簡文館内)

入館料
無料



関西大学博物館 関西大学千里山キャンパス 阪急千里線大前駅下車 徒歩10分
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL: 06-6368-1171 E-mail: hakubutsukan@ml.kandai.jp

平成27年度

関西大学博物館実習展

11月8日(日)~11月13日(金) 開館時間:10時~16時
関西大学博物館特別展示室(簡文館内)

入館料
無料



あきさい 秋彩 紅葉と落葉の色めぐり

歌人・在原業平は次のような和歌を残しています。「ちはやぶる神代もきかず竜田川からくれなゐに水くくるとは」。秋の色は、我々の心をどのように動かすのでしょうか。美しさ、侘しさ、恋、無常…。

秋彩(あきさい)とは、色うつりゆく秋の物語を意味しています。私たちは、紅葉と落葉による「秋の季節」を、色彩をテーマに選んで展示しています。江戸時代の着色絵本『伊勢物語』をメインとした、色とりどりの絵画や美術工芸資料が見所です。

本展をご覧下さる皆さまには、秋の色を目で楽しむとともに、秋彩を心で感じて下さい。



地獄

死の先には何があるのか。死者の国はあるのか。自分がいくのは、極楽か、はたまた地獄か。ああ、やはり地獄にはいきたくない。悪いことをすれば地獄におちる。裁かれて、罰を受ける。焼かれて刺されてえぐられすりつぶされて…

死後の世界という見えない恐怖に対して、日本人がふくらませてきたイメージはいったいどのようなものなのでしょうか?またどのように変化してきたのでしょうか?

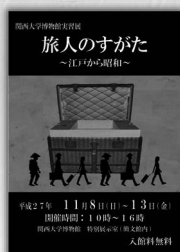
文化の流入や時代の流れで変化してきた、日本の地獄。そして今日の私たちが持つ、死へのイメージ。その源泉をどうぞ、お楽しみください…。



光の二百年 ~あかりと歩む日本人~

江戸時代まで、日本の夜を照らす「光」は小さな灯火(とうか)だけでした。しかし、今からおよそ二百年前、「東洋のエジソン」と呼ばれた田中久重が海外の空気銃に触れたところから「光」の変化が始まりました。

この展示では、田中久重の考え出した「無尽灯」を日本のあかりの転換点と捉え、その前後の変遷を3つの区分に分けて紹介します。新しく海外から渡ってきたものを上手く適応させながら取り入れてきた、日本人のあかりの歴史を振り返ります。



旅人のすがた ~江戸から昭和~

皆さんはこれまで、どのような旅をしてこられたでしょうか。

わが国における娯楽を目的とする旅は、江戸時代の寺社参詣が始まりであると言われています。なかでも、お伊勢参りは、庶民の間で大人気となり、当時の人々が一生に一度は参拝したいと憧れ、願った旅でした。しかし、歴史をふり返ってみると、娯楽目的ではない一世一代の大旅行へ、人生を賭けた人々もいました。

本展では、江戸時代から昭和にかけて、旅に関するトピックを4つ選び、旅人の装いや持ち物だけでなく、旅に込めた希望、高揚感なども“旅人のすがた”と捉え、展示、紹介しています。

当時の旅人に想いを馳せながら、ご覧いただけますと幸いです。

関西大学博物館

関西大学千里山キャンパス 簡文館内
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL: 06-6368-1171
<http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/>
E-mail: hakubutsukan@ml.kandai.jp

■アクセス 関西大学千里山キャンパス 阪急千里線「関大前」駅下車 徒歩 10 分



平成27年度関西大学博物館実習展アンケート

【「地蔵」の展示について】

- (1)展示の内容について (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (2)展示の見やすさについて (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (3)展示の解説について (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (4)展示全体の雰囲気について (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (5)曹娥、死家の世帯について考えたことはありますか、 (1、はい 2、いいえ)
- (6)今まで、目に見えない「地蔵」に対してどのようなイメージを持っていましたか、またこの展示を通してどのような変化がありましたか、よろしければお聞かせください。

【「光の二百年～あかりと歩む日本人～」の展示について】

- (1)展示の内容について (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (2)展示の見やすさについて (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (3)展示の解説について (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (4)展示全体の雰囲気について (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (5)日本のあかりについて (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- ・理解は深まりましたか、 (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- ・模型を使った展示はわかりやすかったですか、 (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (6)一番印象に残った展示は何か、よろしければその理由もお聞かせください。

【「算人のすがた～江戸から昭和～」の展示について】

- (1)展示の内容について (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (2)展示の見やすさについて (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (3)展示の解説について (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (4)展示全体の雰囲気について (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (5)曹娥、どのくらいこの展示で理解されましたか、あてはまる数字に○をつけてください。あてはまるものがない場合は、その他の部分で解説をお聞かせください。
- 1、月に1回程度 2、半年に1回程度 3、年に1回程度 4、ほとんど行かない 5、その他 ()
- (6)どの展示が最も印象に残りましたか、よろしければ、その理由もあわせてお聞かせください。また、その展示についてご意見・ご感想がございましたら、ぜひお聞かせください。

以上でアンケートは終了になります。ご協力ありがとうございました。ご意見・ご感想は今後の参考にさせていただきます。アンケート用紙は受付でスタッフにお渡しください。

ご来館日 平成27年11月 日

関西大学博物館実習展アンケート

本日は関西大学博物館実習展にお越しいただき誠にありがとうございます。
当アンケートは今後の実習展の参考にさせていただきますので、よろしければご協力お願いいたします。
なお頂いた回答はアンケート目的以外に使用することはありません。

・該当する数字に○を付けてください。

性別	1、男性	2、女性				
所属	1、一般	2、本学学生	3、本学以外の学生	4、本学園関係者	5、小学生	
	6、中学生	7、高校生	8、その他()			
年齢	1、10代以下	2、10代	3、20代	4、30代	5、40代	6、50代
	7、60代	8、70代	9、80代以上			
住所	1、大阪府	2、吹田市	3、大阪府以外の近畿地方()	府・県		
	4、その他の地域()	都・道・府・県	5、海外			
今回の実習展について何でお知りになりましたか、						
1、授業	2、ポスター・チラシ	3、関西大学 HP	4、友人・知人	5、その他()		
曹娥、博物館・美術館へどのくらいの頻度で足を運ばれますか、						
1、年に1回以上	2、半年に1回	3、月に1回	4、週に1回			
これまでに関西大学博物館にどのくらいお越しになられたことがありますか、						
1、初めて	2、2～4回	3、5回以上	4、毎年	5、半年に1回	6、年に1回	

＜本日の実習展の各展示についてお聞かせください＞

アンケート内容について該当する数字に○をつけてください。

5、とても良い 4、やや良い 3、普通 2、やや悪い 1、悪い

【「秋篠 紅葉と曹娥の色めぐり」の展示について】

- (1)展示の内容について (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (2)展示の見やすさについて (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (3)展示の解説について (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (4)展示全体の雰囲気について (5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
- (5)秋篠の色の移り変わりをこの展示を通して感じることが出来ましたか、 (1、はい 2、いいえ)
- (6)どの展示品に興味を持ちましたか、またどの秋の色の色が印象に残りましたか、よろしければ理由もお聞かせください。

※裏面に続きます